

熊本地震に係る本院の救護活動について

大阪大学医学部附属病院長

この度の熊本と大分を震源とする地震におきまして被災されましたすべての方々に、心からお見舞い申し上げます。

大阪大学医学部附属病院といたしましては、被災された皆様に 1 日も早く平穏な日常生活を取り戻していただけるよう少しでもお役に立てればという気持ちを込めて、下記の救護活動を行っております。

1. 平成28年4月16日(土) 8時10分 医師2名、看護師2名及び業務調整員2名の計6名で構成する DMAT 隊を熊本赤十字病院に向け派遣。
翌日、0時46分 本院 DMAT 隊は、熊本赤十字病院に到着。
2. 平成28年4月17日(日) 午前6時30分から赤十字病院 DMAT 活動本部の指揮のもと、活動を開始。2チームに分かれて、終日、熊本市の南側に位置する宇城(うき)市内で、医療機関、救護所、避難所を巡回し、医療ニーズの確認作業に従事。
3. 平成28年4月18日(月) 午前7時より2チームに分かれて、熊本医療センターでの病院支援、及び宇城市内の病院からの転院調整作業業務等に従事。
4. 平成28年4月19日(火) 午前10時 DMAT 隊6名が任務を終え、無事帰院した。
5. 平成28年4月23日(土) 厚生労働省 DMAT 事務局の要請に基づき大阪府から熊本県へロジスティックチームの派遣が行われることになり、高度救命救急センター医師1名が統括 DMAT として派遣。(派遣予定期間: 4月23日(土)~29日(金))
6. 平成28年4月29日(金) 高度救命救急センター医師1名は、7日間の任務を終え、無事帰院した。

(平成28年5月2日現在)